

時効へ速やかに対応を

日本共産党津山市議員 久永 良一



質問 ↓ 昨年七月、市は再開発組合の不正資金流用で被告発者、罪名をふせて刑事告発をした。背任罪(個人貸付)の時効(五年)は七月二十日だ。こ

のままでは不正が闇の中に葬り去られる。検察庁への告発を行うなどの速やかな対応を行え。総合ごみ処理センターの広域処理方式と(水道取水口上流につくる)最終処分場の見直し、生ごみと事業系一般ごみの減量を。公営住宅入居への相談が相次いでいる。市のアンケートで市民から早期建設の意見が多い。コストが安くて速く整備が出来る民間アパート借り上げ方式を提案する。

答弁 ↓ 捜査の進捗を見守るしかない。ごみ処理センター整備計画は変えない。事業系ごみの減量を行う。民間アパート借り上げは研究する。

高野山西・河辺線早期開通を

新世紀の会 西野 修平



質問 ↓ 津山中央病院は、医療・保健・福祉の拠点として整備されたが、ここに至って地元町内会とのあつれきが

表れ、解決が困難になっている。多くの要因の中で交通渋滞が根本原因と思われるが、解消策の決め手となる都計街路高野山西・河辺線の早期開通はどのようになっているのか。

答弁 ↓ この都計街路は平成十一年に都市計画決定し、津山地方拠点都市地域アクションプログラムに上げられ、また、岡山夢づくり道路プランにも掲げられた「緊急輸送路や救急医療ルートの獲得」を実現する重要道路と考えている。実施については県で採択していただくことになっており、地元関係者に対して理解が得られるよう、全力を傾注して参りたい。

納得できるアルネ再建案を

津山新星会議 米井 知博



質問 ↓ アルネ再建案の提示が遅れているが、納得できる案を期待する。百億円も穴のあいた再開発事業の責任の所在を曖昧なまま再建策を講じるべきでない。合併後、農業基盤、農業生産高は倍増するが今後の農業施策

の考えは。昭和の大合併と言われた昭和二十九年の合併から五十年になる。イベントを開催し、合併の成果を聞いたらどうか。

答弁 ↓ 組合の責任であり、津山市、県、デベ、コンサルに直接負担すべき法的責任はない。事業に関わった関係者の責任も組合の意思決定を阻害したような実態や証拠はない。市は道義的責任としてアルネ再生に取り組み。合併後の農業施策は大変重要で国県の補助事業を活用し、特色ある農作物の振興を図る。五十周年記念イベントは考えていないが、地域の行事には協力する。

開かれた「まちづくり」の体制について

津山新星会議 佐々木裕子



質問 ↓ 市のプロジェクトチーム設置実態は。審議会と共にHPで公開しては。
答弁 ↓ 規定に基づき十九のプロジェクトがある。設置要綱は見られるが、更に検索しやすいよう取り組んでいく。
質問 ↓ アルネ再建三次案はどのような体

制で作っているか。HPで公開しては。

答弁 ↓ プロジェクトチームを作って週一回会議を開いている。三次案がまとまったらHPで公開する。

質問 ↓ 計画策定中に市民の意見を聞くパブリックコメントを受ける体制は。

答弁 ↓ 子どもの読書活動推進計画で実施したが、市全体では今年度中に要綱を作成する。

質問 ↓ 財源確保の手段として、銀行からの借入れに入札を取り入れては。

答弁 ↓ 平成十六年度からの借入れ銀行については競争入札方式を検討している。

◎議員は病氣見舞金も禁止されています。